

第1章 人口

C.1 Population

■人口減少に転じた福岡県

2008年の九州8県の人口は1,460万人となっており、2000年と比較して16.4万人減少した。全国シェアをみると、九州の人口は1980年に全国の12.0%を占めていたものの、全国より早く人口減少に転じたことから、2008年には11.4%に低下した。県別にみると、2007年と比較して人口が増加したのは沖縄県だけで、これまで増加が続いてきた福岡県も減少に転じている。また、1人の女性が一生に産む子どもの数を表す合計特殊出生率をみると、九州8県は2006年に1.45まで低下した後、2007年には1.48と前年を上回った。なお、九州各県の合計特殊出生率は福岡県を除き全国平均を上回っている。

人口の推移と将来推計

Shifts & Future Estimates in Population

(単位:千人)
(1,000 people)

	1980	1990	2000	2005	2008	2010	2020	2030
全 国 Japan	117,060	123,611	126,926	127,768	127,692	127,176	122,735	115,224
九州8県 Kyushu's 8 Pref.	14,072	14,518	14,764	14,715	14,601	14,539	13,913	12,997
福岡県 Fukuoka Pref.	4,553	4,811	5,016	5,050	5,054	5,034	4,884	4,609
佐賀県 Saga Pref.	866	878	877	866	856	850	804	744
長崎県 Nagasaki Pref.	1,591	1,563	1,517	1,479	1,440	1,431	1,319	1,187
熊本県 Kumamoto Pref.	1,790	1,840	1,859	1,842	1,821	1,809	1,712	1,582
大分県 Oita Pref.	1,229	1,237	1,221	1,210	1,200	1,186	1,115	1,022
宮崎県 Miyazaki Pref.	1,152	1,169	1,170	1,153	1,136	1,127	1,055	962
鹿児島県 Kagoshima Pref.	1,785	1,798	1,786	1,753	1,717	1,708	1,595	1,460
沖縄県 Okinawa Pref.	1,107	1,222	1,318	1,362	1,376	1,394	1,429	1,431
山口県 Yamaguchi Pref.	1,587	1,753	1,528	1,493	1,463	1,444	1,321	1,178

2005年までは総務省「国勢調査報告」、2008年は総務省「人口推計年報」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「将来の都道府県別総人口」

合計特殊出生率の推移

Changing Trends in Total Fertility Rate

	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2007
全 国 Japan	3.65	2.00	2.13	1.75	1.54	1.36	1.34
九州8県 Kyushu's 8 Pref.	4.12	2.28	2.07	1.88	1.65	1.53	1.48
福岡県 Fukuoka Pref.	3.91	1.92	1.95	1.74	1.52	1.36	1.34
佐賀県 Saga Pref.	4.28	2.35	2.13	1.93	1.75	1.67	1.51
長崎県 Nagasaki Pref.	4.49	2.72	2.33	1.87	1.70	1.57	1.48
熊本県 Kumamoto Pref.	4.06	2.25	1.98	1.83	1.65	1.56	1.54
大分県 Oita Pref.	3.90	2.05	1.97	1.82	1.58	1.51	1.47
宮崎県 Miyazaki Pref.	4.35	2.43	2.15	1.93	1.68	1.62	1.59
鹿児島県 Kagoshima Pref.	4.19	2.66	2.21	1.95	1.73	1.58	1.54
沖縄県 Okinawa Pref.	2.38	1.95	1.82	1.75
山口県 Yamaguchi Pref.	3.62	1.92	1.98	1.79	1.56	1.47	1.42

注) 1970年までは沖縄を除いた数値

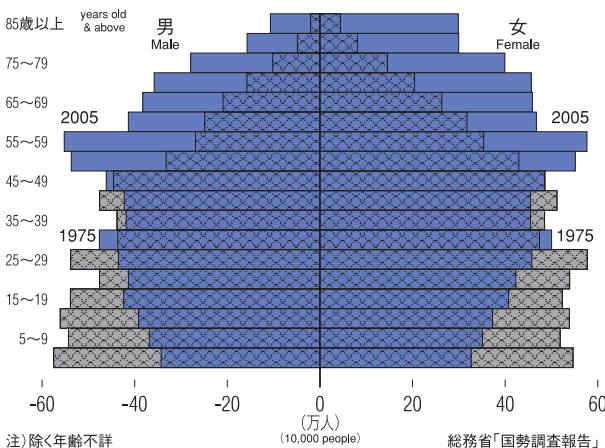
厚生労働省「人口動態統計」
総務省「国勢調査報告」

■少子高齢化の進展と人口の転出超過の拡大

国勢調査をもとに2005年の年齢別人口構成をみると、05年の0～4歳人口は約67万人と、1975年から40.3%減少した。一方、65歳以上人口については、1975年の2.5倍となる約320万人に達しており、少子高齢化が急速に進展している。また、九州と九州外の人口移動は、バブル経済崩壊後の1990年代半ばに転入超過が4年間続いたものの、その後は転出超過が続き、2007年と08年には共に3.5万人の転出超過となっている。県別にみると、福岡県では1989年以降転入超過が続いていたが、2007年には転出超過に転じ、九州全県とも転出超過となった。

九州8県の人口ピラミッド(1975・2005)

Population Age Pyramid for Kyushu's 8 Prefectures



人口移動(九州8県対全国)の推移

Migration (Kyushu's 8 Prefectures vs Japan)

